

- 問1 北条泰時が制定した御成敗式目の中で、諸国の守護に課せられた職務として正しいものはどれですか。当時の条文には、御家人に京都の警備を命じることや、重大犯罪の取り締まりについて記されています。 (2021年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|----------------------------|-----------------------------|-------------------------------------|
| 1. 御家人に京都の警備（京都大番役）を命じ、謀反人や殺人などを取り締まる。 | 2. 朝廷の政治を監視し、天皇の代替わりを管理する。 | 3. 諸大名の参勤交代を監督し、江戸の治安を維持する。 | 4. 全国の田畑の面積を調査し、農民から納められる年貢の額を決定する。 |
|--|----------------------------|-----------------------------|-------------------------------------|
- 問2 北条義時を中心とする幕府軍が、後鳥羽上皇による倒幕の動きを鎮圧した「承久の乱」ののち、幕府が朝廷の監視や西国武士の統制を目的に京都に設置した役職は何ですか。 (2023年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|--------|----------|
| 1. 六波羅探題 | 2. 鎮西探題 | 3. 問注所 | 4. 京都所司代 |
|----------|---------|--------|----------|
- 問3 鎌倉時代、太鼓などを叩きながら念仏を唱えて踊る「踊り念仏」を行い、全国を巡って民衆に教えを広めた僧侶は誰ですか。 (2021年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 親鸞 | 2. 日蓮 | 3. 一遍 | 4. 道元 |
|-------|-------|-------|-------|
- 問4 十字軍の遠征が、その後の西ヨーロッパ社会にもたらした歴史的な影響について述べたものとして、最も適切な説明を選びなさい。 (2018年 沖縄県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 遠征の失敗によってローマ教皇の権威が絶大となり、宗教改革の動きを完全に封じ込める結果となった。 | 2. 戦費を賄うために封建領主が農民への支配を強化したため、荘園制がより強固になり、商業の発展が著しく遅れた。 | 3. 遠征を通じて東方の物産や文化が流入し、イタリア諸都市が東方貿易によって繁栄する経済的な基盤が築かれた。 | 4. イスラム勢力を完全に駆逐したことで、大航海時代を待たずにインドへの直接航路がこの時期に確立された。 |
|--|---|--|--|
- 問5 1232年に鎌倉幕府の執権であった北条泰時が「御成敗式目（貞永式目）」を制定した理由として、最も適切な説明を選びなさい。 (2017年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 承久の乱の後に増加した、土地の所有をめぐる争いなどを公平に解決するための裁判基準を示すため | 2. 徳川吉宗が享保の改革を進める際、幕府の役人に裁判の迅速化を徹底させるための手引書とするため | 3. 朝廷が定めた律令の仕組みを武士にも厳格に適用し、天皇を中心とした政治体制を再構築するため | 4. 聖徳太子が掲げた和の精神に基づき、仏教や儒教の教えを武士の道徳として全国に普及させるため |
|--|--|---|---|
- 問6 北条時宗が執権として対処した元寇に関連して、鎌倉幕府が西日本への支配力を高める契機となった防衛体制の説明として正しいものはどれですか。 (2021年 宮崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 全国の国ごとに守護を初めて設置し、荘園の管理権をすべて幕府へ収めました。 | 2. 御家人だけでなく非御家人にも動員命令を出し、博多湾沿岸に石築地を築かせて防衛にあたらせました。 | 3. 朝廷から全権を委任され、天皇の地位を廃止して全国支配を完成させました。 | 4. 幕府の経済的困窮を救うため、武士の借金を無条件で免除する徳政令を即座に全国へ出しました。 |
|---|--|--|---|
- 問7 鎌倉幕府の御家人は、将軍から受けた恩恵に対し、一朝事あるときには「いざ鎌倉」と駆けつけて軍役を果たすなどの奉公の義務を負っていました。このような御家人たちを軍事的に統制し、管理・監督するために設置された組織はどれですか。 (2021年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|--------|--------|
| 1. 侍所 | 2. 政所 | 3. 問注所 | 4. 評定衆 |
|-------|-------|--------|--------|
- 問8 鎌倉時代、モンゴル帝国（元）が二度にわたって日本へ襲来した出来事は「元寇」と呼ばれます。この二度の戦いの名称の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2021年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------|----------------|--------------|--------------|
| 1. 文禄の役・慶長の役 | 2. 前九年の役・後三年の役 | 3. 文永の役・弘安の役 | 4. 保元の乱・平治の乱 |
|--------------|----------------|--------------|--------------|
- 問9 承久の乱後の鎌倉幕府の政治体制について、幕府の組織構造や権力の仕組みを説明した文として最も適切なものを選びなさい。 (2024年 茨城県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 律令制度に基づく太政官制が採用され、幕府の役職と朝廷の官位が完全に統合された。 | 2. 将軍の下に管領が置かれ、有力な守護大名が交代で政治を統括する連合政治が行われた。 | 3. 幕府の最高職として老中が置かれ、京都に配置された京都所司代とともに西国を支配した。 | 4. 北条氏が就く執権が将軍を補佐し、幕府の政治の実権を握る体制が強化された。 |
|--|---|--|---|
- 問10 韓国の新安沖で発見された沈没船から、当時の荷札である大量の木簡や、中国から持ち込まれたと思われる大量の銅銭、陶磁器が発見されました。これらの遺物は、元寇が行われていた時期の東アジアにおける交流の様子について、どのような事実を証明していますか。 (2025年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 新羅の商人を仲介役とした、朝貢形式の貿易が継続されていた | 2. 商人の活動を中心とした、活発な民間貿易が行われていた | 3. 幕府主導の貿易により、大陸との交流が完全に管理されていた | 4. 元との戦争の影響で、大陸との経済的な交流は完全に途絶えていた |
|---------------------------------|-------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|
- 問11 13世紀後半、元（モンゴル帝国）による攻勢に対して、鎌倉幕府の8代執権である北条時宗らが対処した出来事（元寇）において、武士の合戦の様子や「てつほう」と呼ばれる火器の使用などが描かれた史料の名称として適切なものはどれですか。 (2025年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|-------------|-------------|-----------|
| 1. 伴大納言絵巻 | 2. 大坂夏の陣図屏風 | 3. 関ヶ原合戦図屏風 | 4. 蒙古襲来絵詞 |
|-----------|-------------|-------------|-----------|
- 問12 鎌倉時代において、将軍が御家人の先祖伝来の所領を保証したり、戦功に応じて新たな土地を与えたりする一方で、御家人が将軍のために軍役や番役を果たすことで成立していた主従関係を何といいますか。 (2016年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|----------|---------|-------|
| 1. 知行 | 2. 御恩と奉公 | 3. 封建制度 | 4. 寄進 |
|-------|----------|---------|-------|
- 問13 鎌倉幕府が、朝廷の監視や京都の警備を目的として六波羅探題を設置するにいたった歴史的背景と、その職務内容に関する説明として最も適切なものはどれか。 (2026年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 足利尊氏が後醍醐天皇の政治に対抗するため、京都の支配を固める軍事拠点として設置した。 | 2. 承久の乱で朝廷側に勝利したことを受け、朝廷を監視し、西国の武士を統制するために設置された。 | 3. 平氏を滅ぼした直後、源頼朝が全国の治安維持と徴税を目的として、朝廷の許可を得て設置した。 | 4. 元寇の際、博多の警備を強化し、九州地方の御家人を指揮するために設置された。 |
|---|--|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 御家人に京都の警備（京都大番役）を命じ、謀反人や殺害人などを取り締まる。	御成敗式目では、守護の権限を「大犯三箇条（だいばんさんかじょう）」と呼ばれる三つの職務に限定しました。具体的には、京都大番役の催促、謀反人の逮捕、殺害人の逮捕です。これは、守護が国司の権限を侵しすぎないように制限し、武士社会の秩序を保つ目的がありました。
問2	答え 1 六波羅探題	承久の乱に勝利した幕府は、乱の首謀者である後鳥羽上皇を隠岐へ流すと同時に、再び朝廷が幕府に反抗しないよう監視を強化するために「六波羅探題」を京都に設置しました。これにより、それまで東日本が中心であった幕府の支配力が西日本にまで強く及ぶようになりました。京都所司代は江戸幕府の役職です。
問3	答え 3 一遍	鎌倉新仏教の一つである時宗を開いた人物についての問いです。一遍は特定の寺院に留まらず、全国各地を遍歴して布教したため「遊行上人（ゆぎょうしょうにん）」とも呼ばれました。踊り念仏は、念仏の喜びを身体で表現するものであり、当時の民衆の間で爆発的に流行しました。
問4	答え 3 遠征を通じて東方の物産や文化が流入し、イタリア諸都市が東方貿易によって繁栄する経済的な基盤が築かれた。	十字軍の遠征は軍事的には最終的な目的を達成できませんでしたが、地中海を通じた東西交流を活発にしました。ヴェネツィアなどのイタリア諸都市は十字軍の輸送や物資供給を担うことで富を蓄え、香辛料などの東方物産を扱う貿易を拡大させました。これが後のルネサンスを支える経済的背景となりました。一方で、多大な犠牲を払った教皇や領主（騎士）の権威は低下し、封建社会の崩壊を早める一因ともなりました。
問5	答え 1 承久の乱の後に増加した、土地の所有をめぐる争いなどを公平に解決するための裁判基準を示すため	承久の乱の結果、幕府の支配力が西日本まで拡大したことに伴い、各地で地頭と荘園領主の間などで土地をめぐる紛争が急増しました。北条泰時は、それまでの朝廷の法律（律令）に詳しくない武士たちでも理解できるよう、武家社会の慣習に基づいた明確な判断基準を定めることで、公平な裁判を実現しようとした。
問6	答え 2 御家人だけでなく非御家人にも動員命令を出し、博多湾沿岸に石築地を築かせて防衛にあたらせました。	元寇に対して幕府は、九州を中心とする御家人だけでなく非御家人（幕府と直接の主従関係がない武士）にも動員命令を発し、博多湾沿岸に石築地（元寇防壁）を築かせました。これにより幕府の命令権が西日本全域へと広がる契機となりました。
問7	答え 1 侍所	鎌倉幕府において、軍事と御家人の統制を専門的に担った組織が侍所です。御家人は将軍から所領の支配を認められるなどの「御恩」を受ける代わりに、軍役や番役といった「奉公」の義務を負っていました。この主従関係を基盤とした政治制度を支えるため、侍所は非常に重要な役割を果たしました。なお、政所は一般政務や財政、問注所は裁判をそれぞれ担当していました。
問8	答え 3 文永の役・弘安の役	13世紀後半、フビライ・ハン率いる元軍は1274年と1281年の二度にわたって九州北部に襲来しました。1274年の襲来を文永の役、1281年の襲来を弘安の役と呼びます。鎌倉幕府は北条時宗を中心にこれに応戦し、暴風雨の影響などもあって元軍を退けました。
問9	答え 4 北条氏が就く執権が将軍を補佐し、幕府の政治の実権を握る体制が強化された。	承久の乱を経て幕府の権力が盤石になると、北条氏が世襲する「執権」が政治の主導権を握る執権政治が確立されました。中央組織として、軍事を担う侍所、財政や政務を担う政所、裁判を担う問注所などが整備され、実務的な統治体制が敷かれました。
問10	答え 2 商人の活動を中心とした、活発な民間貿易が行われていた	沈没船から見つかった大量の銅銭や木簡は、元寇という国家間の戦争があった時期においても、商人たちによる民間貿易が継続し、東アジア規模で活発な経済交流が行われていたことを示す重要な証拠です。当時は幕府が独占的に貿易を主導していたわけではなく、民間の力が大きな役割を果たしていました。
問11	答え 4 蒙古襲来絵詞	鎌倉時代後半に元の襲来（元寇）を受けた際の戦闘の様子を描いた史料は「蒙古襲来絵詞」です。肥後国の御家人である竹崎季長が自身の功績を記録し、幕府に伝えるために作らせたとされています。選択肢にある大坂夏の陣図屏風や関ヶ原合戦図屏風は、安土桃山時代から江戸時代初期の合戦を描いた作品です。
問12	答え 2 御恩と奉公	鎌倉幕府の基盤となったこの仕組みは、土地を媒介とした双方向の契約関係です。将軍が与える恩恵を「御恩」、御家人が果たす義務を「奉公」と呼び、この強い結びつきが武士社会の秩序を支えました。
問13	答え 2 承久の乱で朝廷側に勝利したことを受け、朝廷を監視し、西国の武士を統制するために設置された。	承久の乱は、鎌倉幕府の権力が全国へと拡大する大きな転換点となりました。乱の以前は幕府の支配力は主に関東に限定されていましたが、乱に勝利したことで、幕府は朝廷の監視を強化する必要に迫られました。六波羅探題は、京都の六波羅という地に置かれ、朝廷の監視、京都の警備、そして西国（西日本）の武士たちを統制する役割を果たしました。